

則 數 意 注

各●手●代●ニ●事●務●ヲ●割●付●ク●ル●ノ●能●力●
 自ラ万般ノ小事ニ干涉スルハ自
 身カ腦髓ヲ疲ラシ延テ思考ヲ乱スモノニシテ商店ノ運命ニ干スル大
 事ヲ忘ル、ニ至ルベシ故ニ手代等ニ托シテ行ヒ得ベキ事柄ハ大概委
 任シテ自身ハ只監督ニ止ルベシ
 時●間●ヲ●節●儉●ス●ベ●シ
 各事業ニハ其々相當ナル時間アレハ妄リニ他
 言ヲ爲シ贅事ヲ爲シ自身ノ能力ヲ耗損スベカラズ又多言スレハ却テ
 破綻ヲ現ハスノ恐レアリ今少ク時間節減ノ方法ヲ述ベシ
 (其一)劣等ナル事務ヲ一切他人ニ委托スル
 之レハ己ニ前項ニ於
 テ述ヘタレハ又云ハサルベシ
 (其二)事務取扱順序ヲ定メ置ク
 事務ノ順序ヲ定メ置ケハ時間ヲ
 省キ五官ノ騷擾ヲ避ケ得ヘク心持モ平和ニ舉動モ穩和ナルヲ得ベシ
 (其三)他人トノ應接ヲ簡短ニスル
 之レハ應接所ノ体裁ト其人ノ
 心持次第話頭ヲ一點ニ集メ談シ終リテ又他言ヲ吐サルニアリ

應接所ニ付キ一言セシ

- 一 應接所ハ夏ハ涼キ所冬ハ暖キ所ト別ニ撰ムニ及ハズ
- 二 室内ニハ椅子ナキ方却テ客ハ早ク立テ去ルベシ
- 三 煙草盆ナト總テ人ナシテ長居セシムル類ノ道具ハ一切置クベ
 カラズ

則 數 意 注

以上ノ應接所ハ商用ニテ他人ニ接スル場合ト知ルベシ
 (其四)取引上ノ主義ヲ定メ置クベシ 例ヘハ如何ナル人ニハ掛賣ヲ
 爲サズ如何ナル物品ハ掛賣ヲ爲シ若クハ爲サズ等預メ定メ置キ客ニ
 對スルニ自家ノ規律ナレハ云々ト應對スレハ時間ヲ浪費スルヲナカ
 ルマシ
 ●節●儉●ト●富●貴●ノ●關●係● 富貴トナラシムルハ多額ノ錢ヲ儲ケンヨリ浪費
 セザラシムルヲ務ムベシ自身ガ儲ニ儲カルナラシムル思惟シタル程ノ收
 入ナキハ如何ニシテ之ヲ補フベキヤ曰ク再ヒ大ナル利潤ヲ得ント

則 數 意 注

企ツルヨリ先ツ已ニ得タル財産ヲ貯蓄スル様心掛クルニアリ一日若クハ一週間ノ收入中一部ヲ割キテ貯蓄スル人ハ其額如何ニ小ナルニモセヨ此人ノ家産ハ自ラ使ヒ果ス外ニ殘額アルモノニシテ已ニ富ミタルモノト云フモ過言ニ非ルベク此習慣規律ヲ實行セン人ハ常ニ貯蓄アレバ自身ノ取ラントスル事業ニ就テ余リ氣遣ハシキヲモナシヨシ一旦何等ノ事情ニ依リ従前ノ事業ヲ止ムルハ翌日ヨリ家族路頭ニ迷フノ憂ヒモナケレハ自身ガ再ビ從事スル口ヲ擇ムニモ緩ヤカニシテ其地位ヲ待ツノ餘裕アリ萬事好都合ナルハ勿論又家内生計上ニ於テ大ナル愉快幸福モアリヌベシ

事業管理ニ干スル注意 自家ノ事業ヲ細大漏ラサズ理解シ居ランハ實ニ必要ナルヲナレ共一々自身ニテ其些細ナル事務迄モ取り行フニハ及ハザルベク全ク從者ニ托シ置キテ可ナラン代理ニ依リテ行ハシムルモ差支ナカルベシ只事業ノ管理ニ當ラン者ハ精神ヲ活潑ニシ

則 數 意 注

務メテ事業ヲ掛取り且ツ一層盛大ナル有様ニ立チ至ランヲ企ツベシ

如何ニシテ學ブベキヤ 自己ノ隣人若クハ競争者ヨリモ學ブベシ

社會ニ立テ活潑ナル働キ爲シ并セテ事業ノ成功ヲ望ム者カ優者ノ長所ニ則ランハ勿論各人ハ皆持前ノ長所アルモノナレハ廣ク交際シテ其特點ヲ折中參酌セシムルハ實ニ必要ナルヲナリヨシ劣等ニシテ一點ノ取ルベキ所ナキ人ニ會ヒタリ正直ニ之ヲ嘲笑スルヲ止メテ自己モ亦此人ニ類似シタル點ハナキヤト反省スベク又何故ニ彼人ハカク價値ナキ有様ニ陥リタルヤ始ヨリ如此キ人ナリシカト自ラ疑問ヲ起シテ自ラ推考スベク折モアラハ其人ニテ干係アル他人ニ付キ問ヲ試ミ

ノモ贅澤ナル事柄ニハアラザルベシ

社會ハ其時代ニ於ケル尤モヨキ大學校ナリ 何人カ能ク社會一般ノ状態ニ干スル智識ヲ網羅シ得ル見ル物聞ク聲總テ吾人ガ五管ヲ攬

則 數 意 注

動スルモノ一トシテ智識ナラサルハナシ
 賣買ニ關スル事 自身ガ賣買スル器物ノ實價ヲハ精密ニ知ルベク
 其ヨリ廉價ニハ賣ルベカラス自家ノ販賣物品中ニ他人ノ激ク競争ス
 ルモノアラバ此等ハ再ヒ商ハサルトシ競争少キ物品ノミ自家ノ專
 賣品トナスヘシ
 見本トシ貯藏スル物品ハ自ラ取扱フ各種物品中ノ上等ナルモノナル
 ベク店舗ハ能ク物品ヲ整頓シテ見バヘヨク立派ニ飾リ付ケ人ノ注意
 ナ引ク様心掛クヘシ但場合ニ依リテハ實價ヲ減ズルモ余リ古ヒタル
 器物ハ賣捌クベシ
 態度ノ見苦シカラサル様心掛クルノ大切 吾人ハ各人ノ評判カ大
 ニ風姿容態ニ干係アルヲ信スレバ殊ニ若年者ニハ容姿ヲ奇麗ニス
 ル様勸メント欲スルモノナリサレモ態度ノ注意豈容貌衣服ノミニ限
 ランヤ之ヲ店舗ノ有様ニ宛テ辨ムルモ亦然リ「ハムレット」ノ我子ニ干

則 數 意 注

スル注意モ衣服ノ有福ニ清潔ニシテ余リ貧乏臭クナキ様心掛ケヨト
 ノ注告ニ過ギザルナリ
 衣服器具等ニ贅澤ナランハ固ヨリ望ムベキヲアラザルモ贅澤ヲ非
 難スルノ余リ如何ナル風ニテモ容姿ハ問フ所ニ非ズ敝襤褸ヲ着テ少
 シモ耻ヂンけしナキ子路ヲ氣取り之ヲ改良スル方法ノ立タサルニ
 モ非ルニ恬トシテ公衆ノ前ニ意氣得々垢塵黒抹ノ衣服ヲ着ケ居ラン
 ハ余リ感心スベキ事ニモアラズ如何ニ節儉ヲ注意スレバトテ容姿ニ
 干シ數圓ノ金ヲ惜マントハ余リ極端ナル吝嗇ニシテ又經濟ノ眞理ニ
 合フタリモ思ハレザルナリ
 之ヲ室内ニ見ルモ見目ヨキ机附屬品床上扁額ノ書畫周圍飾付品ノ數
 種位ハ注意ニシテ備ヘ置クベク此等ハ實ニ僅少ナル費用些細ナルト
 ナレ共來客ニハ体裁モ宜シク愉快ナル感覺ヲ與ヘテ人ヲ鄭重ニ取扱
 フ本意ニモ適合スルモノナルベシ

若シ容姿ニシテ整頓シ居ランニハヨシ其人ハ左程ニ働キ多キ人ニ非
ザルモ其体裁ヨキ有様ヨリシテ多クノ信用ヲ得ラルベシ然レ共又極
端ニ走ルベカラズ真正ノ友人ハ容姿ニヨリ結付クモノニ非ズ

遠慮及節儉 社會ニ立テ事業ヲ成功セシ用意申身體健康ニ次テ尤
モ必要ナルモノハ貯蓄ノ習慣ナリ己ニスベクテ「ト」(有名ナル雜

ノ記者モ述ベタル如ク假令之ヲ爲シ遂ンハ甚タ難ク且之ヲ行フ人モ

甚少ケレモ中等社會ノ人民ニ對シテハ一年ノ費用ヲ以前ニ用意シ置

ク程幸福ナルトハナカルベシ一度取り込ミタル一年ノ收入モ利用ノ

宜シキヲ得ンコハ信用ノ土臺資本ヲ得ルノ媒介トナルベク從テ其収

入ハ餘リ多額ナラザルニモセヨ之ヨリシテ尤モ高尚且ツ遠大ナル事

業ヲモ企テ得ベシ一年ノ費用ヲ前以テ用意スル人ハ澤山ノ收入ヲ全

ク浪費シ終ル人ニ比スレバ二倍立テ優リタル人ト云フベク少シモ貯

蓄余財ナキ者ハ常ニ他人ニ依頼怙恃スルノ必要アレモ自家生計ニ供

注 意 數 則

スル費用ニ余リ配慮ナキ人ハ其性質モ卑劣ナラザルヘク交際モ頻繁

ナレバ百般經驗的ノ智識モ多ク斷然獨立シテ事業ノ成功ニ必要ナル

千萬ノ秘訣ヲ十分ニ施シ得ベシ

一家秩序 家内ニ於ケル百般ノ出來事中何事カヨク其儘ニテ整頓

シ居ル順序正シク方法處置其當ヲ得ンニハ之ヲ命スルノ主人モ心中

ニ抱ク規律ナカルベカラズ使ハル、者モ亦相當ノ心掛アルヲ要ス若

シ家内ノ法度少シモ相立タズ各事各物ノ鈞合調ハズ尊敬ト寛容トノ

相互ニ行ハル、トナク各自荷ナベク爲サザルベカラサル義務責任モ

定ラズ互ニ他人ノ事業ニ干涉ノ無用ノ言行ヲ爲スニ至ランカ家族的

ノ爛熳タル愛敬ハ何時ノ間ニヤテ全ク逃レ去リテ家内ハ全ク敵人ヲ

一束ニ投人シタル土穴ノ如ク不平ノ言行一面ニ限リテ殺氣ヲ帶ヒ何

ントナク騒々シク一家亡滅ノ徵ナルベシ

注 意 數 則

ノトナク騒々シク一家亡滅ノ徵ナルベシ

第十八章 確言數條

確言數條

之ヲ普通ニ考フレハ事業ヲ成功シタル者ハ自身若クハ同輩ノ利益ノ爲ニ自家ガ成功シタル行爲ノ方法規則ヲ秘密ニセンハ有勝チノ事ナルガ如ク見ユレ強チ然ルモノニモアラズ社會ニ立チテアラユル地位ヲ占メタル人ガ自身ノ働キタル方法自身ノ案内トシタル主義ヲ公言シタル事モ少ナカラサルヘシ此等談話ハ先進者ガ經驗行爲ノ規則ヲ簡單ニ陳述シタルモノナレバ少年者ニ向テ格別ニ價直アルハ勿論如此種々ノ原則ヲ追奉スル少年ハ恰モ尤モ有名ナル大家ノ相續人トナリタルモノ、如シ時代事情ノ差違ト天然性質ノ相違ハ全ク同様ナル結果ヲ生スルヲ許サザルニモセヨ大概ハ自家ガ尊奉シテ摸範トシタル大家ニ似ルヲトナルベシ

サレトモ此規則ハ全ク摸範トスベキモノ、ミニモアラザルナリ世間

確言數條

ニ所謂成功ト呼バル、成功中ニハ非常ニ勞力ヲ費シテ其功半バダニ得ラレザリシ結果モアリ余リ信用スベクモナク非難勝ナル政略ノ結果モアリ

要スルニ幼年者ハ結果ハ方法ヲ正當ニ爲ス即チ目的サヘ可ナレバ方法ハ惡クモ可ナリト云フト云フ不道德極マル言語ニ迷ハサレサル様心掛ケサル可カラズ何物カヨク詐僞不信實奸邪ヲ正當ニ爲サンヤ掩ヒ終ルヲアラシヤ、成功ナル言辞ヲ以テ常ニ幸福若クハ間然スル所ナキ良心ノ結果ナリト信ズルモ亦誤リナルベシ少年ハ少ク世間ニ地位ヲ得レバ忽チ虚聲ヲ張り勢ニ乗シテ何事カナラサント云フ意氣込トナレ凡之ハ大ナル心得違ニテカクテハ無謀ノ事モ多ク成功モ覺東ナカルベシ只世間萬事容易ニ成功ヲ見難キモノ反掌ノ間ニ美果ヲ握ランハ謬想ナリト觀念シテ大ニ注意深ク立働キタランニハ其働キノ度ニ應シテ成就スルヲアルベシ

第一節 社會ニ大ナル勢力ヲ有シタル大家ノ名言及面白キ談話

有名ナル米國ノ大統領リンコルン氏ノ親友ハ北米合衆國南北戰爭間

一日リンコルン氏ヲ訪フテ

「君ハ君ノ治政中ニ南北戰爭ヲ終ラシメント欲スルヤ」ト

問フタルニ

「予ハ戰爭ノ終ルヤ否ヲ云ヒ能ハズ云ヒ能ハヌ」

ト答ヘカレハ友人又

「然ラハ足下此戰爭ニ付テ全体如何ニ爲サントスル考ヲ抱キ居ルヤ

ト再ヒ問カケシニ「林氏」ハ再ヒ答ヘテ云フ様

「止メヨ止メヨ如此キ事ヲ云ヒ賜フ」ト

譯者按スル相互親密ナル友人間ノ談話ニテ之ヲ原書ニ見レハ頗フル
妙味アレハ之ヲ反譯シテハ其語氣靈活ヲ失ヒ則ニ取ル所ナキカ如シ
テ事物ニ周章セサル膽力ヲ示シタル者ナルベシ
自ラ爲サント企テタル事物ハ完全ニ爲シ遂クベシ他人ヨリ受タ

確言數條

確

言

數

條

ル信用ヲ重ンセスシテ不正ノ所爲ヲ働クベカラズトハ予カ日夜ニ
服膺シテ止マサル所ナリ(ニコーラス、ロングウオース)

現時世界ノ金權ヲ左右スル英國有名ノ「ロスチャイルト」家ノ先祖メア
「アムシエール」氏ハ商業ニ干シテ説ヲ爲シテ曰ク

「其一予ハ予ノ商業ニ付キ廣ク花主ヲ得ルヲ務メ粗生品ヲ賣リテ
利ヲ之ニ取り染料ヲ賣リテ又利ヲ之ニ取り終リニ其品物ヲ低廉ニ

買込ミ高價ニ賣リ出シカクテ三種ノ利益ヲ獲得シタリ
其二取引ハ即刻完了ス可ク決シテ金錢ノ關係ヲ殘シ置ク可カラズ

其三決シテ不運ナル人ト關係ス可カラズ成功ノ望ナキ場所ニ事業
ヲ營ム可カラズ才能ハ非常ニ優勝ナルモ足ニ一對ノ靴ダニナキ不

運ニ到着シタル人又少カラシ如何ニモ才能アル人ハ口ニハ金蘭ノ
言辭ヲ綴リナカク利口ヲシキヲモ唱フレ如何ニシテケン如

何ナル所ニヤ欠點アリケン天運ハ之レニ忤フテ輔ケザリシ既ニ天

幸ノ得ルナクンバ自家ノ始末しまつダニナシ能ハザラマシ況ンヤ他人ヲ
利スルヲチヤ此等ノ人トナルベク關係ノ起ラザランヲ務ムベシ
其四注意深ク且ツ大膽ナルベシ資ヲ得ンニハ大ナル膽力たんりよくト澤山ノ
注意トヲ要ス可ク既ニ富ヲ造リ得テ之ヲ保存センニハ富ヲ得ルル
ヨリモ十倍ノ才智ヲ要スベシ

「アモス、ローレンス」氏曰ク

幼年輩ハ百般ノ行爲ヲ正義ナル土臺どたいム上ニ打建うちたツベク俠義きぎノ性質
ヲハヨクヨク保存スベシ然レトモ公正ナル所行ヲ爲シ得タリトテ
之ヲハ誇ル可ラズ

「エー、テイ、ステウアート」氏曰ク

如何ニ才能優勝ナリトモ百折撓たひマザルノ勉強ト万事抜目ぬきめナキ注意
ナクテハ事業ノ成功覺束あきつかナシ

有名ナル佛國ノ天文學者「アシゴ」氏ハ嘗テ「デイ、アレン、バート」氏

確言數條

確言數條

ガ大ニ失望シタル其節自身ノ書物ノ表紙ニ書シタル左ノ確言かくげんヲ以テ
坐右ノ銘ト爲シタリ

「進すすム君ヨ進メ汝ガ際會さいかいスル困難ハ愈ヨ汝ヲシテ勇進ゆうしんセシムル様汝
カ心ヲ決斷セシムベシ進メ進メ耐忍にんじん奮進ふんしん止マサレハ遂ニハ一條ノ
光明くわうめう汝ガ腦頭ニ落チ汝カ行路ハ進ムニ從テ益明瞭トナルベシ
昔時こくじクエーカ「宗ノ或ル聖賢ハ

「如何ニシテ富ヲ得ラルベキカ斯クスレハ富人ト爲リ得ベキヤカク
テハ貧トナランカト余リ考フルハ無用ナリ只汝等兒輩ハ浪費ろうひ蕩盡どうじん
セサランヲ務ムベシ」
ト稱メタリ

「アストール」氏ハ常ニ曰ク

富人ヲラント欲シ拮据きつこ勉べん一万弗ヲ貯蓄シタラン者ハ社會生存ノ
戰爭ニハ半ハ打勝うちかちナル者ナルベク後來益幸運ニ向フベシ

確言數條

固ヨリ万弗ノ金鑿クベキ巨額ニアラズ別ニ賞ムルニ足ラサルナリ然レモ已ニ万弗迄貯蓄シタラン人ハ未來ニ蓋富貴トナルベキ經濟的節儉ノ良習慣ヲ有スルヲ以テ「アストール」氏モ斯クハ賞賛シタルナルベシ。儼然ニハ此レ許リハ些細ナリ別ニ惜ムニモ足ラズトテ浪費ノ習慣オモ願ミサルモノモアレトモコハ甚シキ心得違ナリ塵積リテ山ヲ爲シ雨滴岩石ヲ穿ツ粟粒ノ砂礫之ヲ各別ニ見レハ小ハ即小ナリト雖モ廣袤數千里ニ瀰蔓スル「サワラ」ノ大砂漠モ亦砂粒推積ノ結果ニアラズヤ或ル銳敏ナル商業家ハ吾人ニ教ヘテ曰ク

「予ハ富ヲ得ンコトニ付テ余リ激ク氣遣ハザルモコソ却テ能ク巨額ノ利益ヲ得タリ」

コハ一見解シ得ヘカラサル言ノ如クナレトモ此數言ヲ精密ニ分拆スレハ千萬無量ノ意味ヲ含蓄スルモノ、如シ世ニハ一夕ノ冒險ニ百万ノ富ヲ得タル人モアラフナレバ此等ハ偶然ノ偶然ニシテ各人ノ望ミ

確言數條

得ベキ事ニモナリ又望ミテモ得ラルベキコトニアラサルナリ故ニ富ヲ得ント欲セハ宜ク謹慎正直ナルベク聰明ナルベク齷齪トシテ無謀ニ飛ヒ廻ハルベカラズ之レ此確言ノ起ル所以ニシテヨシ一時ニ巨万ノ富ヲ得タレハトテ此等ノ富ハ忽ニ消ヘ去ルベク到底一夜ノ春眠ニ絶世ノ佳人ト曾合シタルヲ夢ミタルト一般ナリ

嘗テ歐洲ヲ蹂躪シテ天下ヲ睥睨シタル那翁第一世ノ言ニモ

「商業家ノ富資ヲ得ルハ決シテ大將カ一打ノ戰爭ヲ以テ敵ニ打勝ツ如キ迅速ニ且ツ容易ナル者トハ予モ決シテ思惟セサルナリ」

ト見ヘタリ

英國大宰相故ビ「コンスワイ」ルト伯ハ嘗テ曰ク

「事業成功ノ秘訣ハ其目的ヲ曖昧モ間斷ナク經營スルニアリ」

エーティーステウアト氏ハ米國非常ノ富豪家ナルガ嘗テ富ヲ得ンコトハ如何スベキカト氣遣ハシク問ヒカケタル入ニ答テ

「富貴ト成ランニ最モ力強キ助アル者ハ正直ナリ」

ト述ベタリ

コンモドールゾアソダービルト氏ハ事業ニ成功シ富貴トナル秘訣ハ如何ントノ問ニ

「富貴トナランニ別ニ秘訣ト云フベキ事ナシ只心掛クベキハ自家ノ業務ニ怠ラズシテ其進捗ヲ謀ルニアリナレ共其尤モ必要ナルハ企テタル事若クハ企テントスル事ノ成就スル迄ハ決シテ妄リニ他言セザルニ在リ」

ト答ヘタリ

アサー、パツカー氏ハ其文章ニ於テ富人トナル方法ヲ述ヘテ

「富貴繁盛ノ身ト成ラン尤モヨキ方便ハ節儉ト資本ヲ投スルニナルベク安全ナル方法ヲ取ルニアリ」

ト論シタリ

確言數條

確言數條

シヨロイ、ロー氏ハ甚々富人ナリシガ嘗テ其談話ニ於テ述ヘテ曰ク

「己ニ若干ノ資本アリテ之ヲ増殖セシムルハ左程ニ六ヶ敷事ニアラズ只注意スベキハ事ヲ爲スベキノ時致スベキノ場合ヲ充分ニ觀察シ其極點ニ於テ活潑ニ立働クニアリ」

猶其上ニ尤モ肝要ナルハ

「決斷ヲ速ニスルニアリ」

サイラス、エイナルトレル氏ハ事業者必要之習慣ヲ述ベテ曰ク

「正義ノ原則ヲ精密ニ遵守セシムルハ百般取引ノ土臺ニシテ高等事業家ハ皆此主義ヲ以テ自家ノ行爲ヲ規定スベク取引ヲナスニハ頗ル嚴格ニ不注意若クハ周章狼狽シテ何事ヲモ爲スベカラズ

自ラ逸樂ヲ求ントテ他人ヲ使用セザルベシ自ラ爲スベク或ハ爲ササルベカラザル事業ヲ捨テ、願ミサルヲナカルベシ

百事公平ナランハ尤モ注意スベキ事ナルガ自家ノ企業若クハ事務

確言數條

ナハ決シテ他人ニ知ラレサル機心掛クヘシ
 自家ノ花主ガ状態ナハ迅速ニ判断スヘシ
 廻ハリ兼ヌル程ノ商賣ヲ始ムヘカラズ
 短期ノ信用ハ長期ニ正金取引ハ總テ信用方法ニ代ユル様務ムヘシ
 些少ノ危険ヲ冒シテ小利ニ甘ンゼンヨリ危険多シトモ大利ヲ得ラ
 ルベキ事業ニ從フベシ
 取引ハ總テ明瞭ニ確實ナルベシ
 記録シ得ベク且ツ記録セザルベカラザル事實ナハ記憶ノ部内ニ殘
 シ置クベカラズ
 自家ノ事業ニ干スル往復通信書類賣買書付類等總テ大切ナル書類
 ナハ特別ニ騰寫シテ之ニ名字ヲ付シ分類シテ保存シ置クベシ
 机上ニ多クノ書類ヲ堆積シテ混雜スベカラズ
 各物品ハ各物品相當ノ場所ニ備ヘ置クベシ若シ能ク之ヲ探サザレ

確言數條

ハ容易ニ其眞實ヲ知り得ヘカラザル事ナハ事業ノ最初ヨリ能ク能
 ク歴觀シ得ル所ニ立テ注意スベシ
 疑ハシキモノハ決シテ信用スベカラズトノ確言ヲ常ニ服膺セヨ
 自家ノ事務記録ナハ間斷ナク吟味シテ注意シ能フ丈ハ務メテ自家
 ノ事業ヲ觀察スベシ定期ニ於テ決算シ花主ト日々取引ニ干スル計
 算ヲ了解シ完了スベシ
 金錢事件ニ干シナルベク融通爲替風ノ取引ヲ避クベクヨシ其訴訟
 ハ萬々勝ツニモセヨ後日或ハ訴訟ノ起ル事モアラン様ニ見ユル取
 引ヲハ避クベシ
 經費ハナルベク節減シ生計費ハ勿論收入ヨリ支辨シ得ルヲ程度ト
 スベシ
 ポツケットノ中ニハ常ニ談話契約金錢取引ニ干スル事務ノ要點ヲ
 記シタル手帳ヲ入レ置クベシ

確言數條

他人ノ保證人トナルニハ尤モ注意スベシ
 各人ハヨク以上ノ習慣ヲ確守スベク一度此習慣ヲ遵守シ始ムレバ
 之ヲ履行シ續ケンコ余リニ難カラサルヘシ
 有咎ナル經濟學者ダウイツドリカ「ド」氏ハ曰ク
 些少ノ勞苦面倒ヲ厭フテ得ラルベキ利益ヲ失フベカラズ
 損失オハ短ク伐リ捨ツベシ
 利益ハ永續スル工夫ヲ爲スベシ
 トなるべくニ知言ナリト云フベシ
 殊ニ第二ノ損失ヲ短ク伐レト云フハ隨分面白キ言ナリ仮ハ株券買
 買ニ付テ例センコ若シ株券下落ノ際買フ者アレハ早速賣リ終ルベク
 株券騰貴ノ際ナレハ其頂點ニ上ル迄ハ賣ラサル梯爲セトノ事ナリ此
 注意豈株券ノミニ限ランヤ商賣ハ宜ク斷味シテ百般ノ事業取引ニ適
 用スベキナリ

確言數條

汝ガ執ル事業ニ付テハ汝ハ完全ノ智識ナカルベカラズ
 從來積ミ上タル諸信用ヲハ尤モ誠實ニ保護スベシ
 トハ波士頓ノ或商業家ノ述ヘタル所ナリ
 「ジョン、フリードレー」氏ハ
 自○主○獨○立○ト
 自○ラ○自○身○ヲ○依○頼○ス○ル
 事トハ予ガ本來ノ箴言ナリト一言シ猶其說ヲ布演シテ曰ク
 事業成功ニ必要ナル者ニ只資本ナリトノ議論ハ少ク誤見ナルベシ
 人ノ腦髓四肢カ其事業ニ甘ク適合シタランニハ資本ハ忽ニ増殖ス
 ベク予ガ生涯ノ經驗ニヨレバ事業ニ成功シタル人々中十ノ九迄ハ
 其事業ヲ經營スル最初ニ於テ自身ノ腦髓ト四肢ノ外何物ニモ依賴
 セサリシカ如シ百般ノ商賣事業ハ各其々ニ才能忍耐ヲ現ハシ勉強
 チ盡スヘキ場所アリテ其成功ニコソ遲速アレ成功ノ玉冠其頭上ニ

懸ラサルヲハナカルベシ去レテ各人ハ道傍ノ誘惑物ニ眩惑サルヘ
 ガラス些少ノ反對さしむりニ挫折スヘカラズ一旦自身ト事業ト
 ナ一致セシメタル上ハ決シテ「わき目」ヲニ觸ルベカラズ
 斯クテ辛苦經營スル最初ノ至大眼目ハ人生ノ獨立ヲ得ルニアリ他
 人ニ依ラズシテ生活ヲ立ツルニアリ若シ其上ニ余力アラハ善ヲ爲
 スノ力ハ増加シ勢力ハ愈増進スヘシ

「一圓ヲ惜ムヨリ一錢ヲ浪費スベカラズ一圓ハ只一錢ノ堆積セルノ
 ミ」

トハ佛國有名ノ節儉家「ステフエン、ギラード」氏ノ箴言ナリ

附錄

世界第一の富豪「ロスチヤイルド」氏の傳

其ノ名賤シト雖モ其ノ實力ノ至大ナルハ凡ソ「シユエー」人ニ優サルモノ
 ナカルヘシ萬國史ヲ讀ミタルモノハ先ツ第一ニ彼等ガ埃及ニ於テ最
 モ輕賤セラレ最モ凌辱セラレナガラ尙ホ世界ニ知ラレタル至大至難
 ノ事業ヲ成シ遂ゲタルヲ知ルヘシ。輒近ノ世界ニ於テモ彼等ノ遺族ハ
 尙ホ時々驚天動地ノ大事業ヲ爲シテ世界ノ耳目ヲ聳動スルナリ。ル
 ナボレオン「チ凌侮シ」ビスマルシ「チ睥睨セル」チスレリー「ハ實ニ「シユエー」
 人ノ一族ナリ幾代ノ間世界ノ金庫ヲ以テ目セラレ身ハ一平民ナリト
 雖モ其ノ力ハ以テ各國ノ政府ヲ左右シ敵ヲ殲シ國ヲ亡スノ戰爭ヲ起
 廢セシムルニ足ル「ロスチヤイルド」モ亦「シユエー」人ナリ「シユエー」人決シテ
 輕ンズ可ラサルナリ。夫レ既往幾百年ノ間四民ノ最下位ニ置カレテ最
 モ賤シメラレタルモノハ我ガ商人ナリ然レドモ商人ノ富ノ勢力ハ陰
 然トシテ社會ヲ左右セリ其ノ趣何ゾ「シユエー」人ニシテ富豪ナル「ロスチ
 ヤイルド」ニ似タルヤ今我ガ商人ノ爲メニ「ロスチヤイルド」ノ傳ヲ記ス

ルコ亦偶然ナラズト謂フベシ
 「ナートルロー」ノ劇戰ハ實ニ終古ノ大戰ナリ一方ノ將師ハ曾テ歐洲ヲ
 席捲シテ世界ニ敵ナシトセル「ナポレオン」一世帝ナリ一方ノ將軍ハ當
 時不世出ノ勇將ヲ以テ名ヲ轟カシタル「ウエリントン」公ナリ英露獨填
 歐洲各國ノ同盟軍ト佛蘭西軍ト其ノ死力ヲ盡シテ相戰フ正ニ歐洲ヲ
 舉ゲテ勝敗ヲ一舉ニ相争フノ時ナリコノ時ニ當リテ一帝一將ノ心中
 ハ如何ゾヤ「ナポレオン」ノ蒼顔ハ益蒼ク光リ輝ク鷲眼ハ彌ヨ其光ヲ加
 フヘシ毅然トシテ動カサル「ウエリントン」ノ體ハ益々堅クシテ地ニ生
 ヘタル木ノ如ク屹々タル虎視ハ彌ヨ其ノ凝リテ其ノ威ヲ増スヘシ百
 萬ノ軍勢滿目ノ炮煙劍戟モ地ヲ湧カシ天ヲ震フ彈聲叫聲モ皆勝敗ヲ
 決スルノ機ニ非ザルハ無シ而シテ後ノ人モ亦止マ「ナポレオン」ウエリ
 ントン「同盟軍」佛軍ヲ見ルノ外マタ餘事ヲ感セザルベシ然レドモ何ゾ
 圖ラン「ナートルロー」ノ對ヒナル「オーグモン」ノ山上ニ登リテ終日熱心

ニコノ勝敗ヲ窺フコト更ニ當局ノ一帝一將ニ讓ラザルモノアテントハ
 嗚呼是レ果シテ何人ゾ「ナザン、メーヤア、ロスチヤイルド」氏ナリ抑モ「チ
 ートルロー」ノ一戰ハ歐洲存亡ノ係アル所、政治世界、經濟世界、盛衰安危
 ノ係ハル所ナリ「ナザン、ロスチヤイルド」氏茲ニ見ルアリ即チ「オーグモ
 ン」ノ山上ニ登テ劇戰ノ勝負ヲ瞰下シ「ウエリントン」ノ旗色勇ムヲ見
 極ムルヤ英軍ノ勝ツコト必セリトテ汗馬ニ一鞭ノ直チニ龍動ヘ向ケテ
 疾走セリ始メ氏ノ茲ニ來ルヤ豫シメ沿道所々ニ托シテ駿足輕快ノ馬
 ナ備ヘシメ歸ルトキ之ヲ乗替ヘ繼ギ替テ晝夜兼行路ヲ急ゲリ既ニシ
 テ海岸ニ達シテ將サニ英吉利海峽ヲ渡ラントスル時風波荒クシテ舟
 子發セズ氏奈何トモスルコト能ハス遂ニ四百金ヲ懸ケテ一人ノ漁夫ヲ
 雇ヒ一葉崩浪ノ中ニ突進シテ漸ク「ドーバー」ノ岸ニ漕ギ付ケ又前ノ如
 ク沿道ニ備ヘ置ク所ノ駿馬ニ乗替ヘ夜半龍動ノ宅ニ着セリ其ノ翌朝
 千八百十五年六月二十日氏ガ株式取引所ニ至ルヤ諸商人皆其ノ事變

アテノコトヲ問フ氏即チ模糊ノ答ヲ與ヘ且ツ曰ク普西亞ノ援兵未ダ達セズウエリントソ公ノ軍殆ンド勝算ナシト是ニ於テ諸商人等總テ恐惶ス俄カニ株券ヲ賣リ放スモノ多ク其價モ亦甚ダ低落シ人爭フテ氏ニ之ヲ買ハントチ請フ氏故ラニ之ヲ難ニスルノ色ヲ示シ陰ニ手ヲ回シテ晝夜コノ下落セル株券ヲ買込マセ後チ佛軍大敗ノ吉報政府ニ達スルニ及ビ氏始メテ實ヲ明カセリ是ニ於テ株券ノ騰貴セルヲ甚ダシク前古殆ンド其ノ比ナシ氏則チ其ノ機ヲ見テ之ヲ賣出シ一舉ニシテ五百餘萬圓ノ利ヲ占メタリトイフ
今氏ノ傳ヲ叙スルニ當リ先ツロスチヤルド家ノ有様ヲ記セザル可カラズ氏ノ父ハメヤイ、アムスチエル、ロスチヤイルドニシテ一千七百五十五年、フランス、ホルトフ、ジュエー區ニ生ル家固ト甚ダ貧ナルヲ以テ猶太教ノ僧侶タル可キ教育ヲ受ク當時「ジュエー」人ハ蓄財貨殖ニ餘念ナキニモ係ハラズメヤイ、アムスチエルノミ獨リ神學研究ニ身心ヲ委テタ

タリ然レモ「メヤイ、アムスチエル」ハ中學ニ在リシ時ヨリ貨殖ノ學ヲ好ミテ遊戯ニモ亦蓄財ノコトヲ爲セリ十二歳ノ時「ハノーブル」ノ銀行家「チツベン」ヘイム氏ノ會計小吏ニ雇ハレタルカ一錢ト雖モ之ヲ忽セニセズ之ヲ積ンデ一廉ノ資財トナセシカハ即チ其ノ銀行ノ株主トナルヲ得タリ時ニ三千六百萬「ポンド」ノ資財ヲ有セル豪富「ランドグレイ」家ニテ一名ノ執事役ヲ要セル「アリア」メヤイ、アムスチエル即チ撰マレテ其ノ執事役ト爲リ謹厚忠實深ク「ランドグレイ」家ノ信用ヲ得タリ歐洲戦乱ノ時「ランドグレイ」家ハ曾テ英國及ビ普國ノ用達ヲナセシタメ深ク「ナポレオン」帝ノ怒リヲ受ケ佛軍ノ蹂躪スル所トナリテ「メヤイ、アムスチエル」モ亦其ノ害ヲ蒙ムレリ然レトモ「ランドグレイ」家ノ財産ハ「メヤイ、アムスチエル」ノ庭園及ビ土藏ニ埋藏セルヲ以テ僅カニ掠奪ヲ免ル、チ得タリ而シテ「メヤイ、アムスチエル」ハコノ財産ヲ運轉シ得タルヲ以テ資本ヲ借用スル各國政府ノタメニ甚ハダ重視セラ

ル、ニ至リ忽チニシテ百萬圓ノ財産ヲ作レリ

「メヤ、アマムスチエ」ハ一千八百十二年九月十三日六十七年ヲ以テ卒
ス「ナザン、ロスチヤイルド」氏ハ即チ其第三子ナリ「メヤ、アマムスチエ」
ニ五子アリ「アンセルメヤ」ハ「フランシホルト」ノ本店ヲ統理シ「ツロモ
ン」ハ維也納ニセ「ムス」ハ「バ理」ニ「カール」ハ「チーブル」府ニ行キ氏ハ龍動ニ
行ケリ氏ノ龍動ニ行クヤ「ランドグレイ」家ノ資産ヲ管理シテ之ヲ隨
意ニスルノ權ヲ得父ニ次ギテ「ロスチヤイルド」家ノ棟梁ト仰カレタリ
「ロスチヤイルド」氏ハ實ニ戰爭毎ニ其ノ富ヲ増加セリ故ニ能ク好ミテ戰
争ヲ起シタル「ナポレオシ」ハ「ロスチヤイルド」氏ノ最モ忠實ナル功臣ナ
リシトイフヘシ「ナザン」ロスチヤイルド」氏ハ公債發行及ビ國庫金出納
ノ「ナ」統理シテ其ノ勢力駭々トシテ上進シ歐洲各國凡ソ何等ノ戰爭
ニテモ先ヅ氏ノ助ヲ假ラザレバ之ヲ始ムル「ナ」得ザリシトイフ且ツ
當時ノ貨幣市場ハ全ク「ロスチヤイルド」氏ノ版圖ニ屬シタルガ如ク凡

ソ欠ク可ラサル資本ヲ現出セシムルモ將タ隱没セシムルモ其ノ意ノ
如クナラサルハ無シ公債證書ガ一般ニ歐洲ノ各市場ニ賣買セラレシ
ハ「コ」時ヨリ初メリ且ツ彼ノ株式投機ノ「モ」亦全ク「コ」時ヲ嚚矢ト
ス而シテ發達セシ其ノ力ハ最モ「ロスチヤイルド」氏ニ多シトス
千八百二十五年投機ノ商業其ノ度ヲ越ヘテ濫行シタルヨリ英國ニ一
大恐慌ヲ生シタルガ當時「ロスチヤイルド」氏ハ其ノ資財ヲ英蘭銀行ニ
貸渡シテ十分ニ之ヲ補助シタル故ニ同行ハ僅ニ其ノ仕拂ヲ停滯セサ
ルヲ得タリシナリ千八百三十年再ビ恐慌ノ起ルニ及ビ「ロスチヤイル
ド」氏ハ亦少カラズ恩惠ヲ與ヘテ以テ英國當時ノ經濟世界ヲ救助セリ
千八百四十八年佛國政府ハ「ロスチヤイルド」家ノ束縛ヲ免レテ獨立セ
リ是レヨリシテ「ロスチヤイルド」氏ガ歐洲大陸ノ財政市場ニ有セル權
勢ハ全ク消滅シタリト雖モ然レドモ「ロスチヤイルド」氏ハ「コ」時ヲ以テ
大ニ從來ノ方針ヲ變シ鐵道、鑛山、工業ノ計畫ニ資シ御シテ以テ其ノ富

夫造ルニ至レリ蓋シ斯リシヨリ「ロスチヤイルド」家ハ他銀行ト同等ノ地位ニ立テザルヲ得ザリシカドモ尙ホ貨殖的ノ大事業ヲ爲ス其ノ實力實勢ハ依然トシテ變ズルコトナク屹然トシテ經濟世界ニ雄視セリ現ニ英國政府ガ「スエス」ノ運河ヲ我が有トシタルガ如キモ畢竟ロスチヤイルド氏ヨリ英國政府ヘ其ノ資本ヲ貸與セルカ故ナリ去レハ當時文明世界ニ於テ苟クモ大事業ト稱セラル、程ノモノハ何カニ限ラズ「ロスチヤイルド」家ノ財産ニ關係セサルモノハアラザリキ

「ロスチヤイルド」家カ巨萬ノ富ヲ殖ス其法ハ實ニ簡單明白ナルモノナリ若シ「ロスチヤイルド」家ニテ公債ヲ發行セバ其ノ賣買價格ハ百万磅ノ公債ヲ發行スルノミコトモ其ノ利益ハ甚ダ莫大ナリ然レドモ是レ止メ其ノ利益ヲ得ル手段ノ一部ナルノミ「ロスチヤイルド」家ハ「マダ」自カラ株式取引所ヲ作り莫大ノ利益ヲ擧マデハ同一ノ公債ヲ賣買シ又再賣買ス且ツ「ロスチヤイルド」家ハ金融市場ヲ自作スルガ爲メニハ

有テユル術數ヲ用ヒ又金融市場ニ密接ノ關係アル政略上秘密ヲ窺ヒ知ルコト巧ミナリシヲ以テ事々ニ莫大ノ利益ヲ得ザルナシ或ル記者曾テ評スラク歐洲ニハ止メ一ノ勢力アルノミ勢力トハ何ゾヤ他ナシ「ロスチヤイルド」家即チ是也「ト嗚呼」ロスチヤイルド氏ハ實ニ一個ノ勢力ナリシナリ十二ノ銀行ヲ以テ將官トシ百般ノ實業家諸商人ヲ以テ兵卒トシ投機ヲ以テ利及トセリ蓋シ「ロスチヤイルド」家ハ歐洲各國ヲ以テ其ノ花客トシ歐洲各國ハ亦ロスチヤイルド家ヲ以テ其ノ金主トセルナリ

「ナザン」メヤ「ロスチヤイルド」氏ハ其ノ兄弟中最トモ大財政家大投機家大勉強家ニシテ且ツ天稟ナガラ確實有要ナル一種特別ノ才能ヲ有シタリ氏ガ「ロスチヤイルド」家ノ支店中先ツ龍動ノ支店ヲ撰ビテソノ支配人トナリシヲ見テモ氏カ才能銳利ナリシヲ知ルベシ氏ハ「ロスチヤイルド」家ニ全世界の事業ノ性質ヲ與ヘ且歐洲各國ノ政府ヲ助ケテ他會

社ノ類ガ看テ受ルカ能ハザリシ名譽ヲ尊敬等ヲ合セ得タリ、氏曾テ龍
動ノ一富豪シユ、人某ノ愛嬢ト交リ厚シ後之ト結婚セント欲シテ某
ニ請フ某氏ノ財産ヲ危ブミ其ノ資産ノ高ク問フ氏答ヘタイフ若シ余
ガ富ト信用トニ相應セル待遇ヲ爲サント欲セバ足下ハ余ニ足下ノ愛
嬢チ一人モ殘カス余ニ嫁セシメテモ尙ホ足ラスト氏又タ曾テ英蘭銀
行ヲシテ我が英蘭銀行ハロスチヤイルド家ノ如キ大財政家ニ對シテ
ハ到底競争スルカ能ハズト自白セシメリ即チ氏ハ商用ノ地金若干ヲ
要スルヲ以テ其仕拂期限ヲ定メテ之ヲ英蘭銀行ヨリ借入レタリ其ノ
期日ニ至リ氏ハ右ノ金額ニ相當セル英蘭銀行發行ノ紙幣ヲ出セシニ
銀行役人ハ硬貨ノ返濟ヲ求メント欲シテ之ヲ請フ氏即チ曰ク良シ然
ラハ其紙幣ヲ返付セヨ汝ノ金番ハ汝ノ金庫ナリツノ金ヲ引出シテロ
ノ紙幣ト交換スベシ余ハ即チ地金ニテ之ヲ返却シ得ント以テ氏ノ人
ト爲リテ概見スルニ

「チザン、メヤ、ロスチヤイルド」氏ハ一千八百三十六年ヲ以テ死セリ子
息レチンチル氏モ亦父ガ有セザ理財ノ才能ヲ遺傳シタリ氏ハ國會議
員トナリシカ遂ニ「シユ」人トシテ舊約全書ノ宣誓ヲ爲スナリ許サレ
タリ氏固トリウチス病ヲ患ヒ千八百七十九年ヲ以テ卒シタルドモ
生前曾テ固疾ノヲメニ其ノ業務ヲ怠リシコナレシチンチル氏ノ死
後「ロスチヤイルド」家ハ其ノ三子ヲ以テ支配セラレ現今ノ「ロスチヤ
イルド」公「チザン」君ハ龍動商社ノ資産ヲ支配シテ一家ノ棟梁タリレチ
ンチル君ノ愛嬢ハ基督教ノ信徒ナル或ル貴族ニ嫁シタルドモ「ロス
チヤイルド」家ノ業務ハ全家其利害ヲ擔當シテ注意細心ニ營業シ以テ今
日ニ至ル

「ロスチヤイルド」家ノ諸氏ハ一種天稟ノ能力ヲ具備セタルノミナラズ
又貨殖家トシテ最トモ價値アル格言ヲ述ベシヲ屢々「チザン」

アムガチエル、ロスタヤイルト「氏其ノ終リニ臨ミ五子ヲ枕頭ニ招キ」モ
セス」ノ經文ヲ信仰スルコト兄弟五人ノ同心協力スヘキコト何事モ其ノ母
ト協議スヘキコト等ヲ遺訓シ且ツ曰ク汝等能クコノ三ヶ條ヲ確守セヨ
汝等ハ速ニ富人中ノ富人トナリ得ヘク全世界ハ總テ汝等ニ服従スヘ
シ

「チザフ、メヤー、ロスチヤルイト」氏ハ常ニ下ノ二格言ヲ守レリ「余ハ臨機
應變ノ人物ナリ機アレハ猶豫セズ之ヲ買ヒ之ヲ賣ル」余ハ多クノ智者
ヲ見タリ然レトモ彼等ハ全キ靴スラ着ケサリシ余ハ決シテ彼等ト共
ニ事ヲ謀ラズ彼等ノ助言ハ甚ダ理アリテ美サリト雖モ天運ハ常ニ彼
等ニ反對セリ「氏ノ死スル前數日客アリ氏ニ謂フテ曰ク余ハ足下ノ子
弟ガ關シ可ラサルモノ、外ハ金銀職業ノコトニ熱セサルヲ望ムナリト」
氏直ニ之ニ應ヘテ謂ク「然レモ余ハ之ヲ望ムナリ余ハ余ノ子弟ガ其ノ
神魂心及ヒ體ト満腹ノ精神トナシ之ニ用サシコト望ム是レ即チ幸福ナ

得ルノ方法ナリ大ナル富ヲ造ラント欲セバ又必ズ非常ニ大膽ニ非常
ニ細心ナラサルベカラズ且ツ既ニ富得タル後ハ之ヲ守ルガタメマダ
十倍ノ智慮ヲ要ス」

金
畢

明治二十一年九月八日印刷
全二十一年九月拾日出版

正價金三拾五錢

譯者 坂 牧 勇 助

東京牛込區馬場下町卅一番地

發行者 大 橋 佐 平

東京日本橋區本町一丁目十二番地

印刷者 宮 本 敦

東京日本橋區銀座二丁目十二番地
愛善社

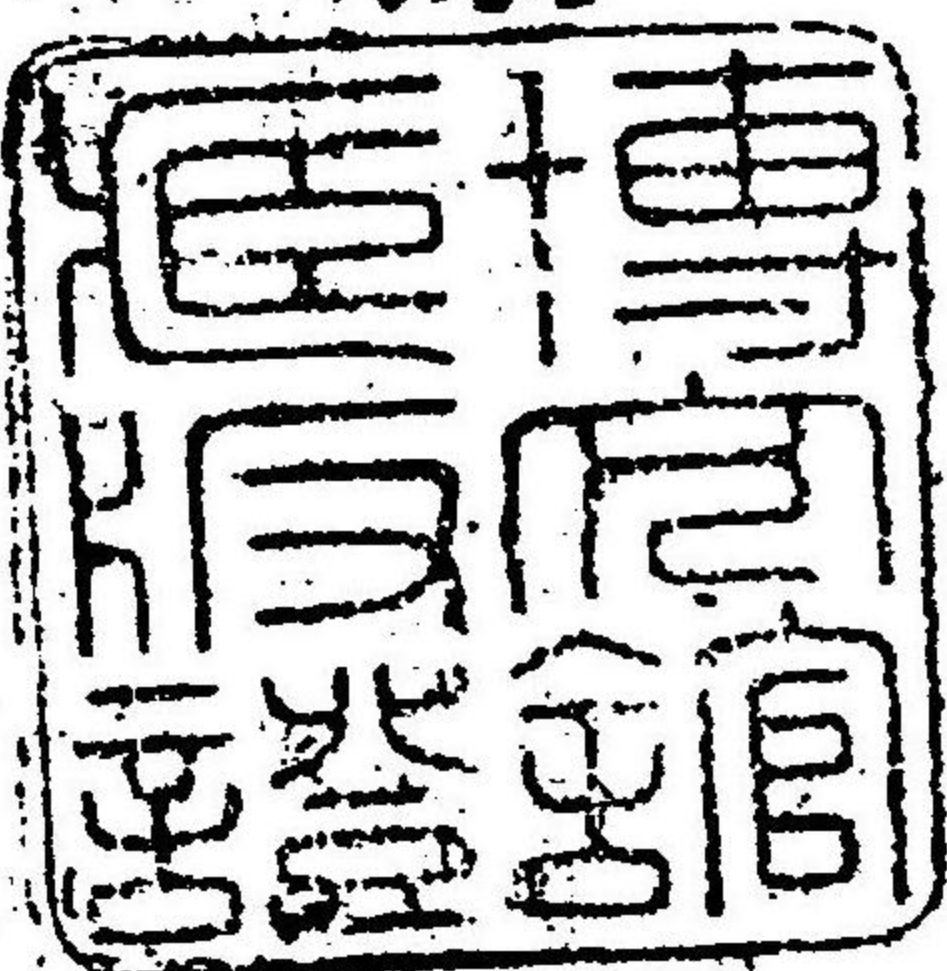


版權登錄

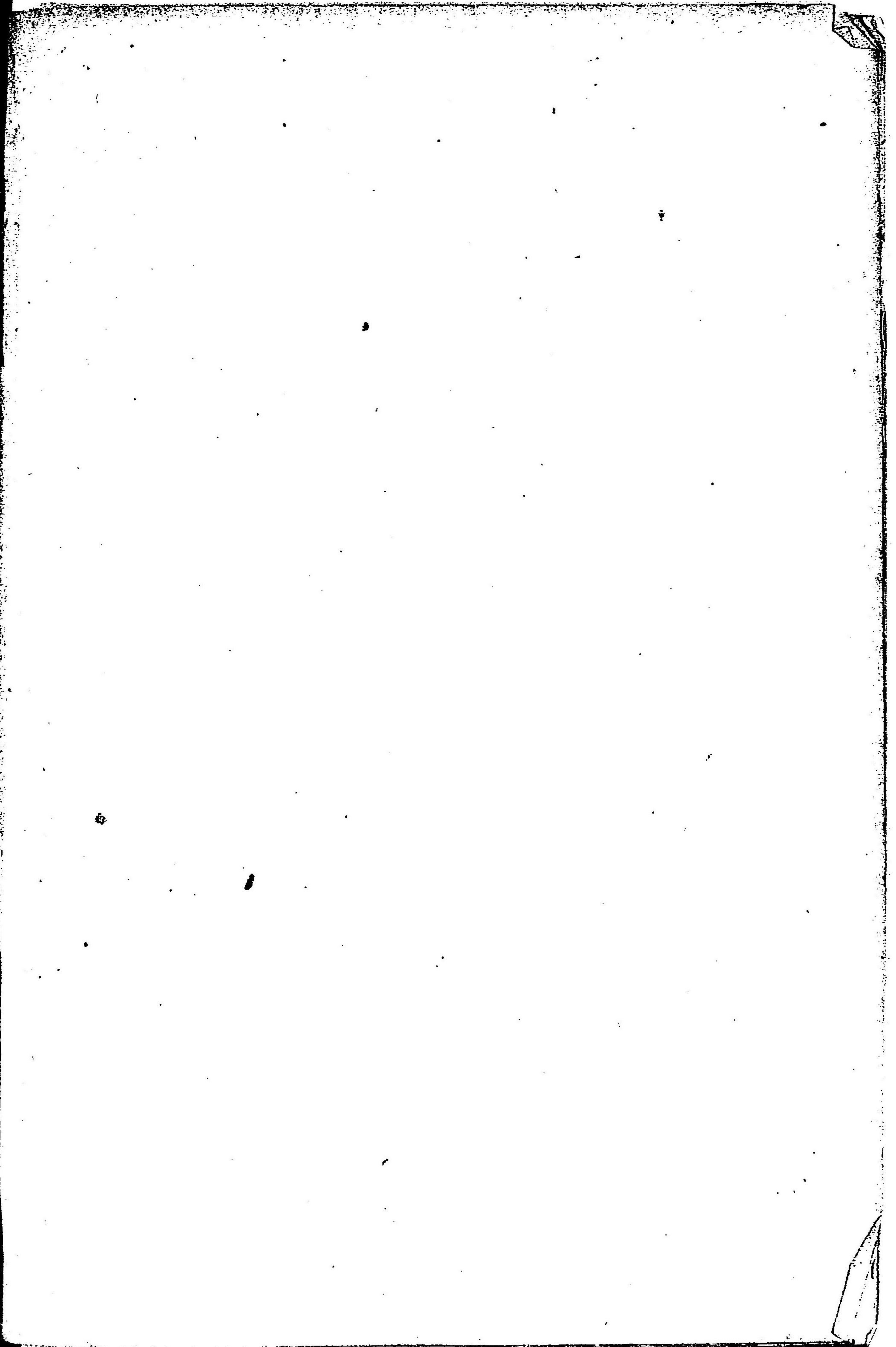
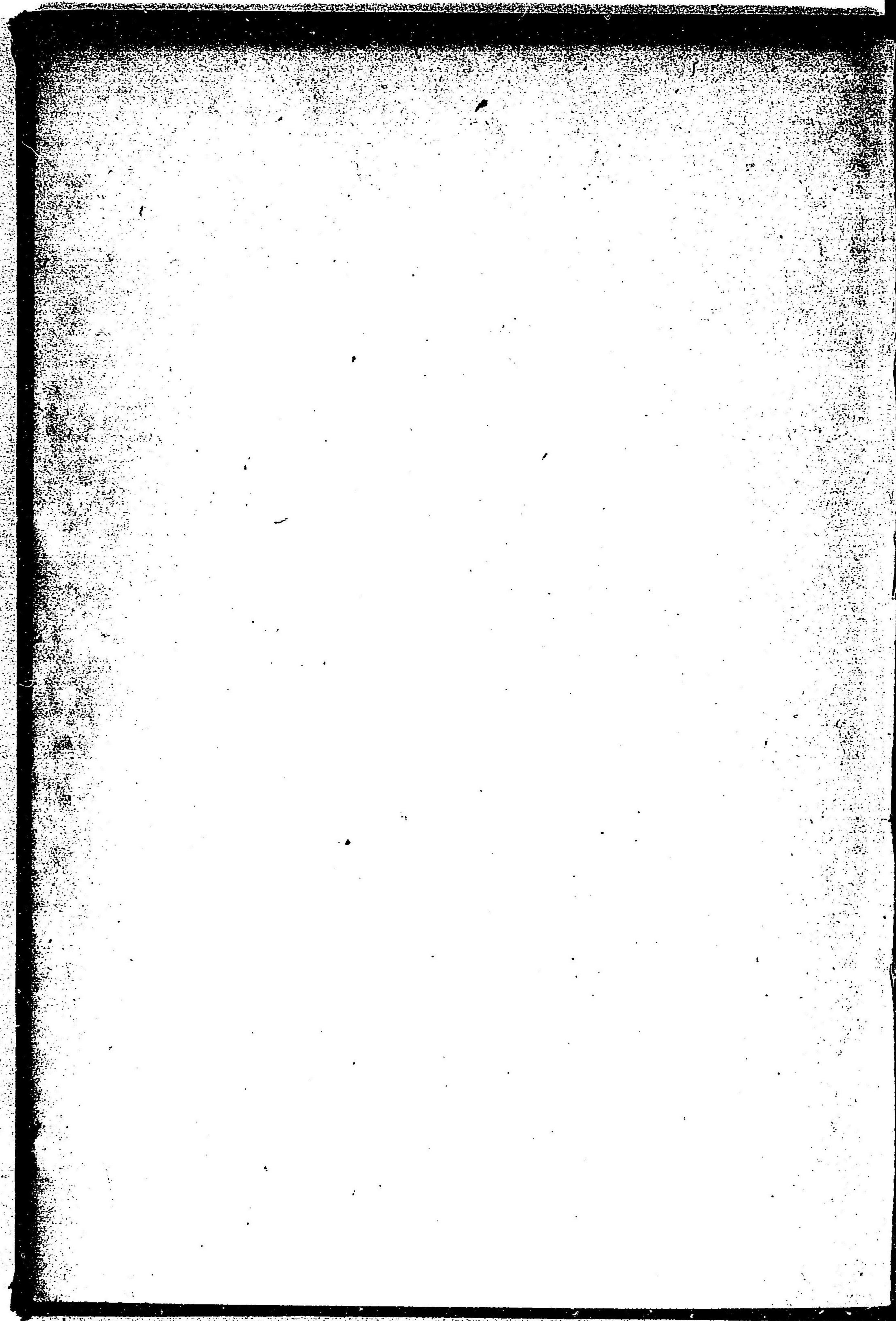
發賣元

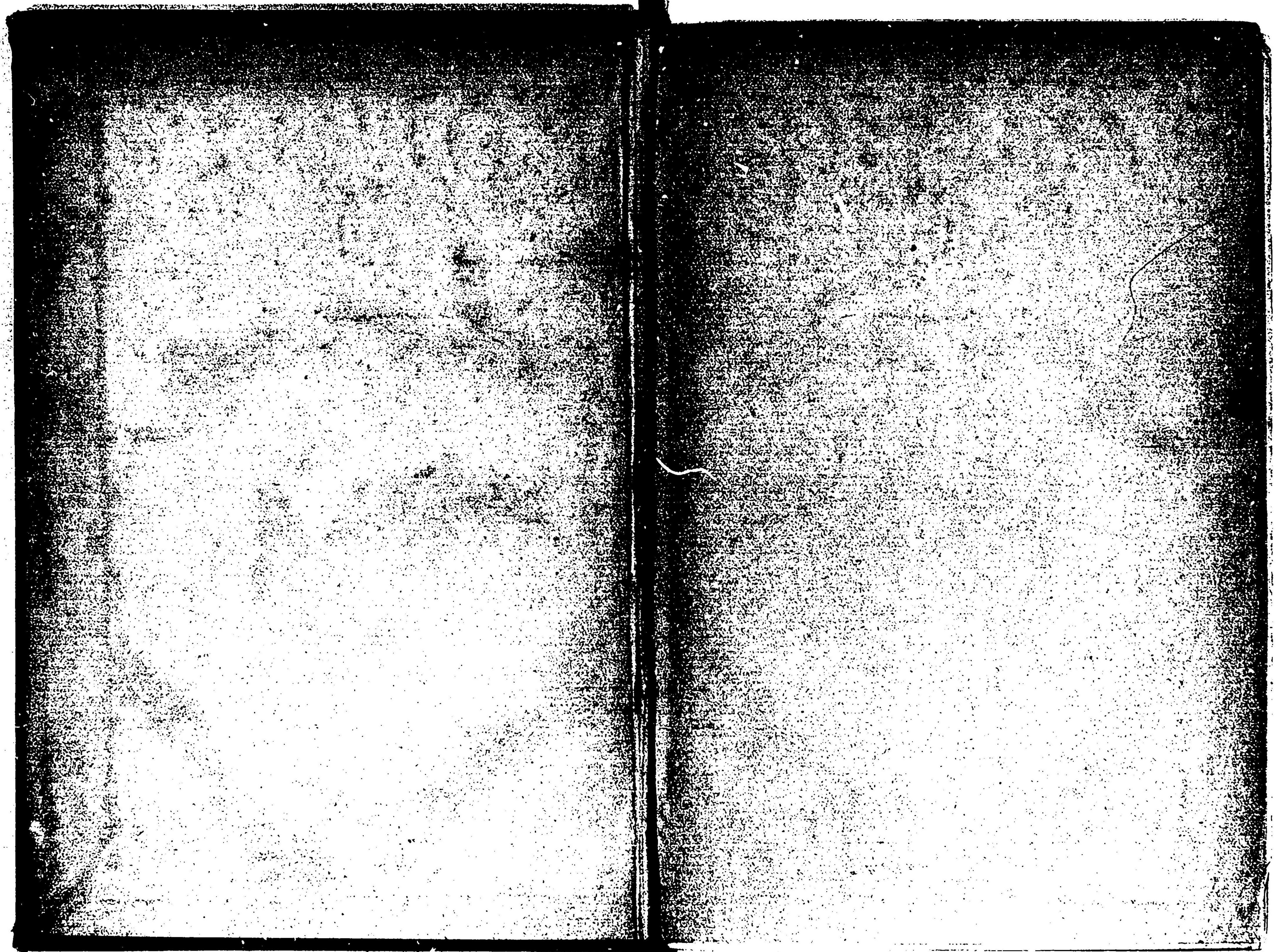
博文館

東京日本橋區本石町三丁目



26







17
45

040989-001-9

17-45

金

坂牧 勇助 / 訳

上

M 2 1

BDF-0090



